

---

# 大きな手

榎井ロビン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大きな手

### 【Nコード】

N4087BA

### 【作者名】

樫井ロビン

### 【あらすじ】

ライブ楽しかったのカボチャのロビン

昨夜のライブは楽しかった。

バーのお兄ちゃんはギターで、常連さんがベース。

と、いうか、お客さんと店の人という関係を超えた

バーなので、観客もかなり顔見知り。子供もたくさん来ていて

背の高いお兄ちゃんに高い高いをされ軽く2メートルは

持ち上げられて、目を回していた。

お兄ちゃんのバーには入りきれないくらいの多くの人に再会できた。

他のバンドのロカビリーに合わせて踊りまくるみんな。

すごい陽気で、めっちゃめっちゃ楽しかった。

そんな中、ロビンはお兄ちゃんに「これから会ったら一度はロビンと

呼んで！」と強要してた。だってロビンはロビンと呼んで欲しいん

だもん。

お兄ちゃん、「店の中だけやろ？」っていつから、どこで会っても

どこへ遊びに行っても「ロビンでよろしく」と言っと、苦笑して

「よしよし、ロビン」と言っつて、その大きな手でロビンの頭をなで

たようだ。

ようだ、というのも、30センチはあるような大きな手は、

まるでロビンの頭を丸々にぎったかのように、

ロビンも片手で握られたか力ボチャみたいな気がしたから。

ドキドキより、ウルウルきた。

一人でがんばって生きている力ボチャほど、頭を「よしよし」され

ると

ホッとして、ほろつとくるもんなんだよ。

お兄ちゃんは、みんなのもの。常連さんやファンの女性や、子供た

ち、みんなに

愛される存在。だから余計に、うれしかった。みんなの「大きな手」

によしよし、と

なでられたような気がした。ありがとう、みんな。勘違いでも、ありがとう。

これが書きたくて、急いで帰ってきたロビン。かわいい？でしょ！  
笑

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4087ba/>

---

大きな手

2012年1月10日20時54分発行